

ICANNダブリン会合 政府諮問委員会報告

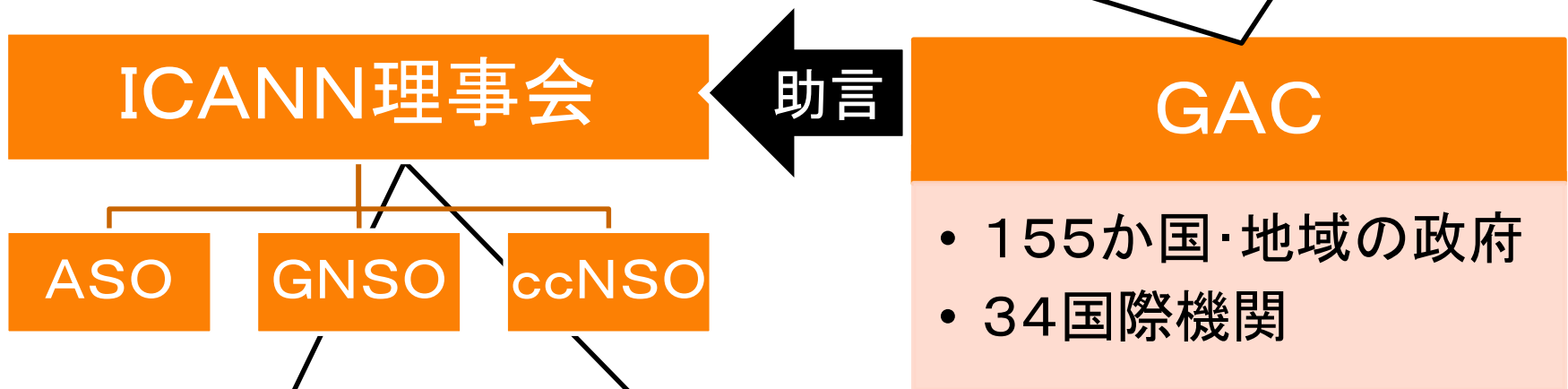
平成27年11月18日

総務省 データ通信課 企画官

菅田 洋一

政府諮問委員会 (GAC) とは？

ICANNの活動に関し、公共政策課題に関する事項等について政府の立場から検討し、ICANN理事会に対して助言する。



ICANN理事会は、ポリシーの形成及び採用においてGACの助言を十分に考慮しなければならない。

GACダブリン会合のスケジュール

	10月 17日 (土)	18日 (日)	19日 (月)	20日 (火)	21日 (水)	22日 (木)
ICANN54			全体 会合			
GAC						

- GACは、ICANNパブリック・ミーティングに合わせて年3回会合を開催（ダブリン会合には65か国・地域の政府及び9つの国際機関が参加）。
- 会合最終日に成果文書として「コミュニケ」を採択。

GACダブリン会合の主な議題

- ① 新しい分野別トップ・レベル・ドメイン(新gTLD)の導入
- ② IANA機能の管理移管
- ③ マラケシュ・ハイレベル政府会合

(参考)新gTLDの導入

- ICANNは、22種類(「.com」「.net」等)に限られていた分野別トップ・レベル・ドメインを拡大するため、2012年1月から5月まで新gTLDの申請の受付を実施(現在のラウンド)。
- 全世界で1930件(我が国からは71件:「.tokyo」「.hitachi」等)の申請があり、ICANNによる審査等を完了したもののから順次運用が開始されている。

主な結果① 新gTLDの導入

- 新gTLDの導入プロセスのうち、現在のラウンドについては、セーフガード助言（規制業種や免許・資格に関するドメイン名に対して消費者保護等の観点からGACが行う助言）の実施状況の明確化、ドメイン名登録資格の確認のベスト・プラクティスの提示、悪意のある運用（商標の侵害等）を評価するための手法の策定を再度助言。

主な結果① 新gTLDの導入

- 将来のラウンドに向けては、ICANN理事会がGACのこれまでの助言を踏まえて現在のラウンドを評価した上で、今後の運営方針を策定していくことを助言。
- なお、政府間組織（ITU等）の名称の保護、地理的名称（「.Africa」等）の保護等については、次回マラケシュ会合に向けて議論を継続。

(参考)IANA機能の管理移管

米国国家電気通信情報庁 (NTIA)

ICANN

調整グループ
(ICG)

- IANA機能の管理移管の提案策定

クロス・コミュニティ・
ワーキング・グループ
(CCWG)

- ICANNの説明責任向上の検討

主な結果② IANA機能の管理移管

- IANA機能の管理移管の検討を行うICGが作成した統合提案への反対はなく、ICGの活動を了知した。



(右写真) GACダブリン会合の様子

主な結果② IANA機能の管理移管

- 他方、ICANNの説明責任の向上に関する検討を行うCCWVGが提案したメカニズムについては、GACの助言に対するストレス・テスト18を巡り各国が鋭く対立。ICANN理事会に対して助言を行う現在のGACの役割を維持することなどの原則については一致したものの、ストレス・テスト18に対する具体的な見解は引き続き検討することとなった。

(参考) ストレス・テスト18の提案

- ICANNの現行の定款は、ICANN理事会の義務として、GACの助言を考慮し、助言と矛盾する決定をした場合にはお互いに受け入れ可能な解決策を見つけることを規定。

(参考) ストレス・テスト18の提案

- ストレス・テスト18は、助言がGACのコンセンサスで採択されなかった(多数決等で採択された)場合には前述の義務が課されないように定款を変更することを提案。
- なお、GAC自身が定めている現行の運用原則は助言の採択手段をコンセンサスに限定しているため、本件提案は将来の運用原則改正の可能性を想定。

(参考) ICANNの定款: 仮訳

第XI条第2項1

j 公共ポリシー問題についての政府諮問委員会からの助言は、ポリシーの形成および採用のいずれにおいても十分に考慮に入れるものとし、ICANN理事会が、政府諮問委員会の助言と矛盾する措置をとることを決定した場合、ICANN理事会は、政府諮問委員会にその旨を通知し、政府諮問委員会の助言に従わないことを決定した理由を伝えます。政府諮問委員会およびICANN理事会は、タイムリーに効率よく誠意を持って話し合うことで、互いに受け入れられる解決策を見つけるものとし、

(参考)GACの運用原則:仮訳

第XII条

第47原則

GACは参加国のコンセンサスを追求することを基本として活動する。コンセンサスは、国際連合における運用に従い、正式な反対意見がない一般的な合意に基づき決定を採択する運用を意味すると理解される。議長は、コンセンサスが可能でない場合には、参加国によって表明された幅広い意見をICANN理事会に伝達する。

(参考) ストレス・テスト18を巡る議論①

	賛成	反対
代表的な国	日本、米国、英国、オーストラリア、ニュージーランド、デンマーク、ノルウェー	フランス、スペイン、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、チリ、ベネズエラ、イラン、中国、ロシア、レバノン、ナミビア、ベトナム
代表的な意見	GACによるICANNの支配を警戒する米国議会やその他のステークホルダーの懸念を払拭し、移管を早期に実現するためにもストレス・テスト18を受け入れるべき。	GACが助言を採択する手段はGAC自身が決めるべき。ストレス・テスト18はGACの権限の侵害。

(参考) ストレス・テスト18を巡る議論②

- 議論の結果、ICANN理事会に対して助言を行う現在のGACの役割を維持すべきとの原則に加えて、①助言に参加国のコンセンサスを反映すること、②コンセンサスの意味はGACが定義すること、③理事会はコンセンサスの反映された助言を尊重することなどの必要性については一致。

主な結果③

マラケシュ・ハイレベル政府会合

- ホスト国のモロッコ政府が概要及び議題を説明。議題については引き続き調整。

日程	2016年3月7日
開催地	マラケシュ(モロッコ)
議題(案)	①IANA機能の管理移管への理解 ②ICANNの新しい枠組みにおける政府の役割 ③ICANNと途上国 ④ICANNの説明責任向上のメカニズム



御静聴ありがとうございました。